

令和2年度 桐生商工会議所  
「経営発達支援事業」評価報告書

令和3年5月

桐生商工会議所経営発達支援事業  
外部評価委員

## 目 次

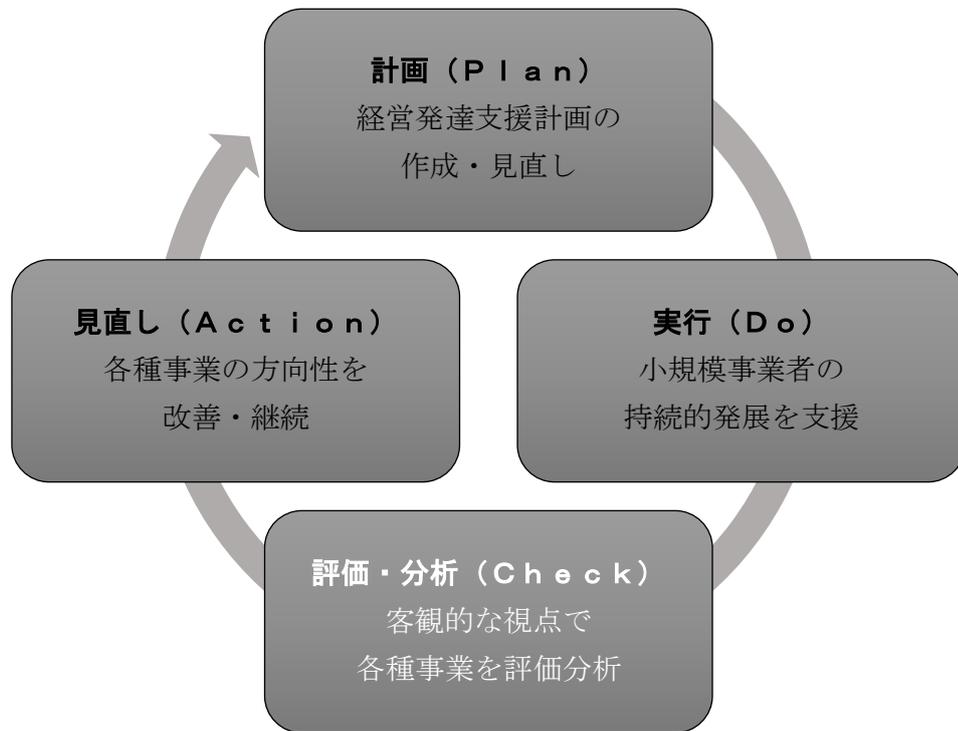
1	外部評価の目的	2
2	外部評価の流れ	3
3	外部評価員名簿	4
4	会議開催経過	4
5	評価視点と評価方法	5
	（1）評価視点	5
	（2）評価方法	5
6	外部評価結果	5
7	全体的な総括	6
<b>【補足資料】</b>		
	数値目標・実績	7
	相談指導・補助金申請等実績	8
	会員アンケート結果	11

## 1 外部評価の目的

桐生商工会議所では、令和2年3月に経済産業省より2期目となる「経営発達支援計画」の認定を受け、5年計画で小規模事業者の持続的発展を支援するための各種事業に取り組んでいる。

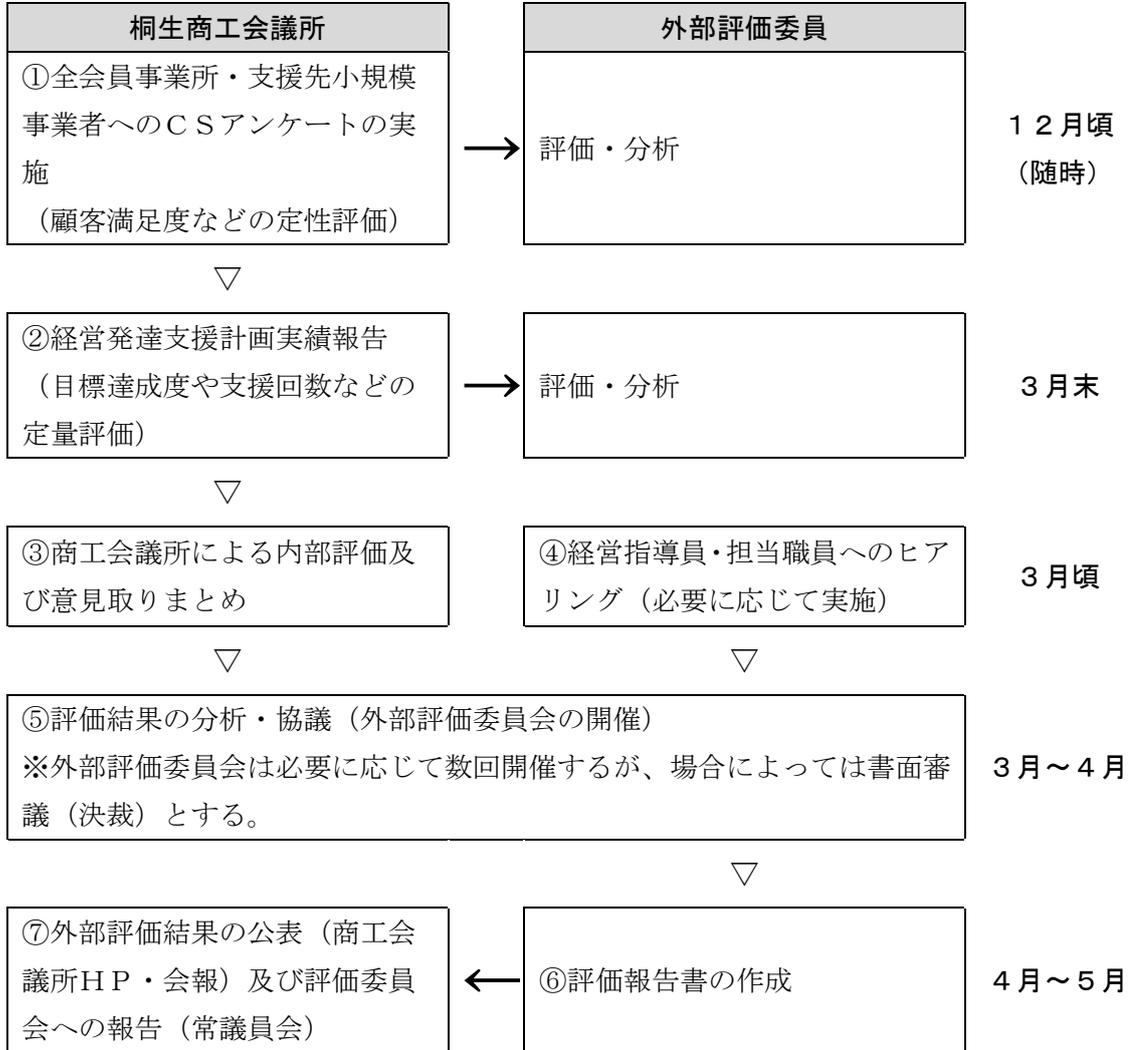
この外部評価は、経営発達支援事業を効果的に継続していくため、客観的な視点で各種事業を評価分析し、適切なPDCAサイクルを構築することを目的として行うものである。

外部評価委員は、支援実績と会員CSアンケート結果等に基づき、事業の遂行状況及び実施内容に対する評価分析を行い、経営発達支援事業評価報告書を作成、必要に応じて支援計画の内容について提言を行うものとする。



## 2 外部評価の流れ

外部評価は、以下のとおり実施する。



### 3 外部評価委員名簿

外部評価委員は、以下のとおり構成する。

任期は、令和2年4月1日から令和7年3月31日まで。

なお、2期目の経営発達支援計画は、桐生市との連携による共同計画であることから、桐生市への委員の委嘱は行っていない。

令和2年度委員

(敬称略)

氏名	所属	役職
権藤 哲郎	(株)日本政策金融公庫前橋支店 国民生活事業	国民生活事業統轄
諸田 隆志	群馬県産業経済部	経営支援課長
奈良 敬一	(公財)群馬県産業支援機構	総合相談課長

令和3年度委員 ※令和3年4月の人事異動により変更

(敬称略)

氏名	所属	役職
権藤 哲郎	(株)日本政策金融公庫前橋支店 国民生活事業	国民生活事業統轄
上山 英人	群馬県産業経済部	経営支援課長
奈良 敬一	(公財)群馬県産業支援機構	総合相談課長

### 4 会議開催経過

会議の開催経過は、以下のとおり。

名称	日時・場所	内容
第1回 外部評価 委員会	令和3年5月7日(金) ～5月18日(火) 書面会議にて開催	・経営発達支援事業の外部評価について

## 5 評価視点と評価方法

### (1) 評価視点

チェック項目	評価の視点
必要性	小規模事業者を支援するために必要不可欠な事業であるか
	商工会議所が主体となって実施すべき事業であるか
	商工会議所内部の管理運営上必要な事業であるか
有効性	事業の成果は上がっているか
	目標に対する達成度は十分であるか
	地域経済の活性化に貢献しているか
	小規模事業者の課題解決に貢献しているか
	商工会議所内部の管理運営上の課題解決に貢献しているか
効率性	効率性向上に努めているか
	成果を落とさずにコストの削減や業務負担を縮小する方法はあるか

評価の判断基準は下図のとおりであるが、商工会議所の内部意見を踏まえ、総合的な外部評価とする。

目標値に対する達成率	評価
76% ～ 100%以上	A
51% ～ 75%	B
26% ～ 50%	C
0% ～ 25%	D

### (2) 評価方法

外部評価は、各事業の「数値目標・実績」に記入されている情報と「桐生商工会議所満足度調査アンケート」の集計結果を参考にして行った。これらの資料から読み取れない部分は、補足資料並びに担当者へのヒアリングにより補った。

## 6 外部評価結果

各事業の外部評価結果は、別頁「数値目標・実績」のとおり。

## 7 全体的な総括

桐生商工会議所の「経営発達支援事業」については、各事業の目標値に対する実績に若干差異が見受けられるものの、補助金申請支援等の主要な事業では目標値を達成しており、全体的には計画に沿った支援事業が行えていると判断できる。

特に、経営発達支援計画の基幹となる経営課題の根本的解決をサポートするための経営分析や事業計画策定支援並びにフォローアップを積極的に実践した。

経営指導員8名が対応した2年度の相談件数は、巡回訪問件数が1,691件、電話を含む窓口対応件数が2,058件であり、小規模事業者に寄り添った伴走型支援を実践した結果であると言える。

具体的には、各種補助金申請等における事業計画策定支援実績は、サービス等生産性向上IT導入支援事業費補助金(13件)、小規模事業者持続化補助金(221件)、被災小規模事業者再建事業持続化補助金台風19号型(1件)、ぐんま新技術・新製品開発推進補助金市町村・県パートナーシップ支援型(2件)となっている。また、創業促進を目的とした群馬県起業支援金(2件)、桐生市空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金(1件)、桐生市新規工房開設補助金(1件)の申請支援にも取り組んだ。総数(241件)を見ると、目標値を大きく上回る実績を上げており、支援体制の充実と支援ツールの整備により、迅速かつ効率的に取り組んだ成果であると言える。

さらに、専門分野の経営分析や経営課題解決には、中小企業庁の「ミラサポ専門家派遣制度」(19回)や群馬県よろず支援拠点の「よろず出張相談会」(31回)を効果的に活用したほか、伴走型小規模事業者支援推進事業補助金を活用した専門家無料派遣(60回)、群馬県小規模事業者エキスパートバンク事業費補助金を活用した専門家無料派遣(17回)を実施し、各支援機関や専門家と連携した小規模事業者支援にも継続的に取り組んでいる。

2年度は、年度当初から新型コロナウイルス感染拡大の影響が生じ、2回の緊急事態宣言が発令され小規模事業者に大きな打撃を与えた。展示会やイベントの中止が相次いだことで、支援実績を上げられなかったが、今後はオンライン商談会やウェブ展示会といった手法での支援も検討していただきたい。

その一方で、新型コロナウイルス関連の各種支援金や認定制度が創設され、国の持続化給付金や家賃支援給付金、緊急事態宣言に伴う休業や営業時間短縮要請に対する群馬県事業継続支援金や協力金、桐生市新型コロナウイルス対策事業継続支援金や感染拡大防止協力金等の申請支援を行った。また、群馬県が適切な感染症対策を行う店舗を認定するストップコロナ対策認定制度(262件)の現地調査を実施するなど、新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた事業者への支援が大半を占めた一年であったと言える。

最後に、本評価が今後の支援事業の実施に際し、適切に反映されるよう要望し令和2年度の外部評価とする。

以上

<数値目標・実績>

実施項目	事業内容	R2年度					
		目標	実績	達成率	評価		
1. 地域の経済動向調査	①現在実施している管内景況調査結果に加え、桐生信用金庫が同時期に実施している地域産業景気動向調査の結果も併せて分析することで、より広範かつ正確な地域景況感の分析を行う。景況調査・分析の結果は、当所ホームページに掲載する。	公表回数	4回	4回	100%	A	
	②RESASを用いて、地域内の事業所について産業別に域外移輸出額や付加価値額等の分析を行う。また、地域外からの滞在人口・宿泊人口の分析を行う。分析の結果は、当所ホームページに掲載する。	公表回数	1回	1回	100%	A	
2. 経営状況の分析	各種補助金制度や各種計画認定制度、マル経融資等の施策を案内し、それらの申請を通してローカルベンチマークを用いた経営分析を行う。分析の結果は、BIZミルを活用して所内にデータ蓄積し、詳細な状況把握が行えるようにする。	分析件数	160件	281件	176%	A	
3. 事業計画策定支援	①経営指導員による事業計画策定の個社支援 経営分析支援を実施した小規模事業者に対し、事業計画策定を個別支援する。	事業計画策定件数	48件	237件	494%	A	
	②事業計画策定セミナーの開催 3日間1セットのセミナーを年1回開催する。講師は群馬県中小企業診断士協会から招聘する。事業ビジョン・マーケティング戦略・資金計画等の検討方法を学ぶ。	創業計画策定件数	4件	4件	100%	A	
	③創業計画策定セミナーの開催 7日間1セットのセミナーを年1回開催する。講師は中小企業診断士・税理士等を招聘する。創業ビジョン・マーケティング戦略・資金計画等の検討方法を学ぶ。						
4. 事業計画策定後の実施支援	事業計画を策定した全事業者を対象に、原則2ヶ月に1回の頻度で経営指導員が訪問し、事業計画の進捗確認と計画実行の上での問題点の有無について確認する。特に支援が無くても計画進捗を問題無く進められると見込まれる事業者はフォローアップ頻度を減らし、その分、進捗に問題のある事業者に対して頻度を高めて重点支援を行うことで全体の計画達成率を高める。 また、創業計画を策定した創業者に対しては、原則1ヶ月に1回の頻度で経営指導員が面談しフォローアップを支援する。	事業計画策定支援先	フォローアップ対象事業者数	48件	237件	494%	A
		創業計画策定支援先	フォローアップ対象事業者数	4件	4件	100%	A
5. 需要動向調査	繊維加工技術を活用した新商品開発を行うため、桐生繊維協同組合等の業界団体ならびに大手ハンドクラフトECサイト「Creema」と連携し、新たなファッション雑貨アイテム開発コンペを実施する。具体的には、Creemaに登録する多数の作家・デザイナーから、桐生織の生地や刺繍を用いたファッション雑貨アイテムの商品企画を募る。集まった商品企画についてCreemaサイト上でアンケート投票を行い、アンケートの分析結果をフィードバックしたうえで、人気上位の企画を実際に商品化する。	調査対象事業者数	5社	0社	0%	D	
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業	①ハンドメイドECサイトとの連携販路開拓事業 (BtoA) ハンドメイドECサイト「Creema」と連携し、桐生産の織物や刺繍といった素材・技術を活用した新商品開発を行い、Creema サイト上で販売することで、桐生産の素材・技術のBtoA(ビジネス→アーティスト)販路を構築する。	参加事業者数	5社	0社	0%	D	
		売上額/社	30万円	0万円			
	②feel NIPPON展示商談会出展事業 (BtoB) 日本商工会議所が主催する展示商談会「feel NIPPON」において3ブースを出展し、繊維工業をはじめとする地域の製造技術を活用した新商品のBtoB販路開拓を図る。	出展事業者数	3社	1社	33%	C	
		成約件数/社	4件	0件			
	③桐生ビジネスマッチング展示商談会開催事業 (BtoB) 当所・桐生市・桐生商工会議所の共催において、展示商談会「ビジネスマッチングフェア」を地元地域で開催し、地域内事業者相互の受発注促進を図るとともに、域外からバイヤーを招聘して域外販路開拓を促進する。	出展事業者数	160社	0社	0%	D	
		成約件数/社	2件	0件			
	④ハンドメイドinジャパンフェス展示即売会 (BtoC) ㈱Creemaが主催する展示即売会「ハンドメイドinジャパンフェス」において2ブースを借上げ、桐生産の織物や刺繍といった素材を来場者(一般消費者)へ販売する。	出展事業者数	5社	0社	0%	D	
		売上額/社	30万円	0万円			
	⑤プレス発表会開催事業 マスコミ各社を招き、小規模事業者の事業計画のプレゼンテーションを行うことで、パブリシティに繋げてPR活動を支援する。	支援事業者数	5社	0社	0%	D	
		掲載件数/社	2件	0件			
経営指導員・専門家による個社支援	⑥巡回指導による地域内事業者マッチング支援 (BtoB) 地域内の小規模事業者の情報を収集・蓄積することで、シーズとニーズを引きあわせて地域内の受注循環を促進させる。	支援成約件数	10件	10件	100%	A	
	⑦ホームページ構築サポート事業 小規模事業者のホームページ経由での受注獲得やECを促進するため、専門家の協力のもと、ホームページの販促効果を高めるための支援を行う。	支援事業者数	5社	5社	100%	A	
	⑧販促ツール作成サポート事業 小規模事業者の営業・販促・PRの効果を高めるため、専門家の協力のもと、各種販促ツールについて広告効果を高めるための支援を行う。	支援事業者数	15社	23社	153%	A	
	⑨小規模事業者情報ウェブ発信事業 ポータルサイト上にて、地域の小規模事業者の技術・製品・商品・サービス・店舗の情報を掲載紹介することで、PR活動を支援する。	掲載紹介事業者数	30社	35社	117%	A	

## 相談指導・補助金申請・経営計画策定・専門家派遣等実績

### ①経営指導員の巡回窓口相談指導（通信・電話等によるものを含む）

（経営指導員8人・設置延月数96ヶ月）

	対象企業数	経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境対策	その他	計	
巡回指導	製造業	139	0	361	7	70	13	7	5	0	46	509
	建設業	27	0	44	0	18	6	2	0	0	6	76
	小売業	178	2	572	4	58	19	2	1	0	59	717
	卸売業	10	0	9	0	3	0	2	0	0	4	18
	サービス業	118	2	203	6	28	14	1	5	0	41	300
	その他	35	0	45	1	14	1	1	2	0	7	71
	計	507	4	1,234	18	191	53	15	13	0	163	1,691
窓口指導	製造業	145	1	243	6	104	45	10	19	2	152	582
	建設業	45	0	58	1	20	19	4	0	1	85	188
	小売業	159	2	255	11	81	38	3	1	0	173	564
	卸売業	11	0	12	0	3	2	0	0	0	19	36
	サービス業	141	0	221	5	73	36	3	2	1	132	473
	その他	45	1	102	9	31	9	0	2	1	60	215
	計	546	4	891	32	312	149	20	24	5	621	2,058
創業指導	巡回指導	4	0	2	0	1	1	0	0	0	0	4
	窓口指導	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	計	7	0	5	0	1	1	0	0	0	0	7

### ②講習会等の開催による指導

	経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境対策	その他	計
集団指導	回数		3					1		4
	人数		56					19		75
個別指導	回数		21		2					23
	人数		19		105					124

### ③金融あっせん

	幹旋件数	貸付件数	幹旋総額(千円)	貸付総額(千円)	
日本政策金融公庫 (国民生活事業)	一般・特別				
	マル経資金	3	3	8,000	8,000
	マル経資金(コロナ対応)	10	10	54,600	54,600
	計	13	13	62,600	62,600
その他	市制度融資	55	54	326,713	313,313
	その他金融機関				
合計	68	67	389,313	375,913	

### ④ストップコロナ！対策認定制度(群馬県)

業界団体等が作成したガイドラインに基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組む小売・飲食サービス業等の店舗を、「ストップコロナ！対策認定店」として認定する「ストップコロナ！対策認定制度」について、消費者の信頼性の確保や消費喚起による地域経済の活性化を図ることを目的とし、申請受付・書類確認・現地調査・事前審査会を行い、群馬県より認定された事業所へ認定書・認定ステッカー・認定ポスター・のぼり旗を配付し、啓示を依頼した。

申請支援:262件

飲食店	127件
小売業	70件
理美容業	26件
社交飲食店	17件
教育・学習支援業	4件
娯楽業	2件
宿泊業	1件
洗濯業	1件
その他	14件

## ⑤国等補助金事業申請支援

事業者の試作品開発、設備投資、創業、販路開拓などの活動を推進するため、国等が公募した各種補助金事業への申請支援を行った。

### a.令和元年度補正・令和2年度補正サービス等生産性向上IT導入支援事業費補助金

申請件数 13 件 採択件数 10 件

### b.令和元年度補正・令和2年度補正 小規模事業者持続化補助金

申請件数 221 件 採択件数 110 件 採択結果待ち 22 件

### c.令和元年度被災小規模事業者再建事業 持続化補助金台風 19 号型

申請件数 1 件 採択件数 1 件

### d.令和2年度群馬県起業支援金

申請件数 2 件 採択件数 2 件

### e.ぐんま新技術・新製品開発推進補助金 市町村・県パートナーシップ支援型

申請件数 2 件 採択件数 2 件

### f.市町村新規工房開設補助金

申請件数 1 件 採択件数 1 件

### g.桐生市空き店舗活用型新店舗開設・創業促進事業補助金

申請件数 1 件 採択件数 1 件

### h.桐生市新しい生活様式導入支援補助金

申請件数 32 件 採択件数 32 件

### i.雇用調整助成金

申請件数 1 件 採択件数 1 件

## ⑥国等認定経営計画等策定支援

事業者の新商品開発、設備投資、技術革新、人材育成など、経営力強化の活動を推進するため、国等が承認する各種計画の策定支援及びフォローアップ専門家派遣を行った。

### a.経営革新計画策定支援

申請件数 2 件 採択件数 2 件

### b.経営力向上計画策定支援

申請件数 4 件 認定件数 4 件

**c.先端設備等導入計画策定支援**

申請件数 11 件 認定件数 11 件

**d.事業継続力強化支援計画**

申請件数 8 件 認定件数 8 件

**e.経営改善計画**

申請件数 2 件 認定件数 2 件

**⑦中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業 専門家派遣支援**

事業者が抱える業務上の様々な課題解決を支援するため、企業支援ポータルサイト「ミラサポ」を活用した専門家無料派遣を実施した。

専門家派遣回数 19 回

**⑧群馬県よろず支援拠点 専門家派遣支援**

国が 47 都道府県に設置した中小企業・小規模事業者のための経営相談窓口。

解決が困難な経営相談のアドバイス・複数の支援機関や専門家がチームを組んでの支援・地域の支援機関とのネットワークを活用した支援をおこなった。

・よろず出張相談会(桐生商工会議所へ専門家を常駐) 12 回開催

相談件数 31 件

**⑨伴走型小規模事業者支援推進事業補助金 専門家派遣支援**

小規模事業者が抱える業務上の様々な課題解決を伴走支援するため、伴走型小規模事業者支援推進事業補助金を活用した専門家無料派遣を実施した。

専門家派遣回数 60 回

**⑩群馬県小規模事業者エキスパートバンク事業費補助金 専門家派遣支援**

小規模事業者が抱える経営における様々な課題解決を支援するため、群馬県小規模事業者エキスパートバンク事業費補助金を活用した専門家無料派遣を実施した。

専門家派遣回数 17 回

## 第2回『新型コロナウイルス感染症 経営に対する影響についてのアンケート』結果報告

■実施期間 令和2年10月1日～10月30日(金)

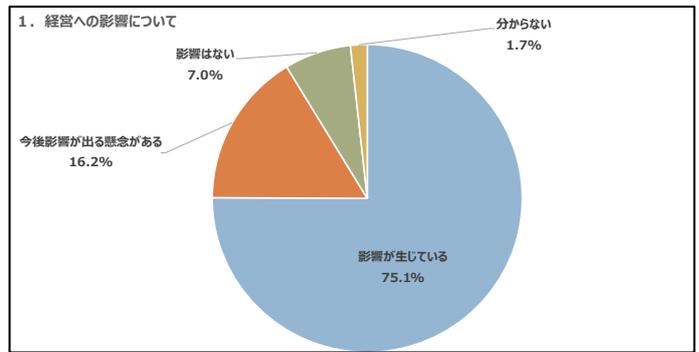
■配布数 1,913 件

■回収数 345 件

桐生商工会議所

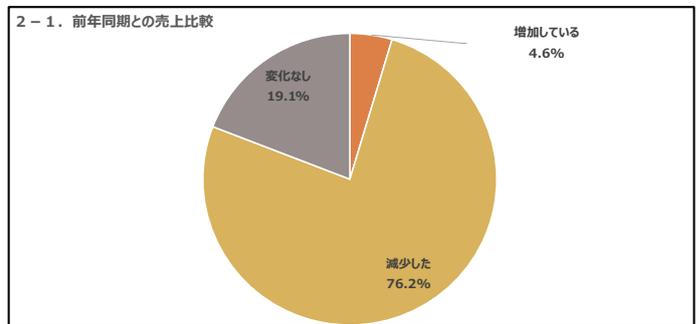
### 1. 新型コロナウイルス感染症による経営への影響について

設問	件数
影響が生じている	259
今後影響が出る懸念がある	56
影響はない	24
分からない	6
計	345



### 2-1. 前年同期（7～9月）と比較した売上の変化について

設問	件数
増加している	16
減少した	263
変化なし	66
計	345

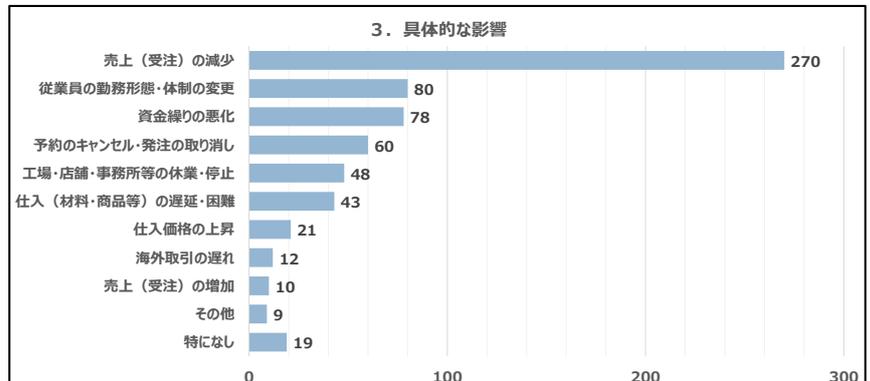


### 2-2. 前年同期（7～9月）と比較した売上の変化の割合について

増加率平均	108.3%
減少率平均	-39.1%

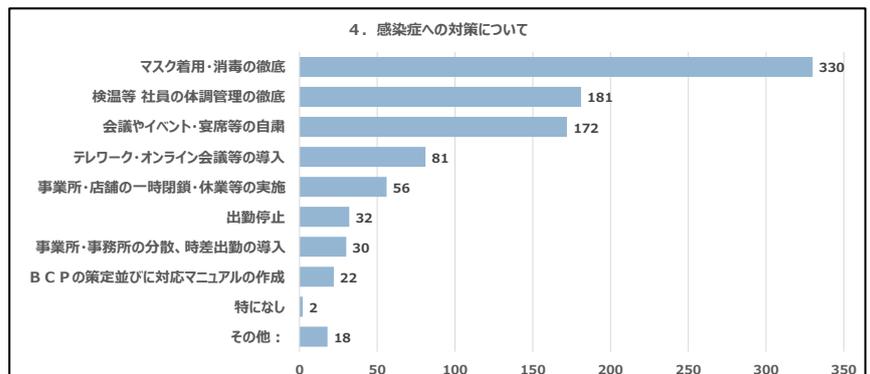
### 3. 新型コロナウイルス感染症の具体的な影響について ※複数回答可

設問	件数
売上（受注）の減少	270
売上（受注）の増加	10
仕入（材料・商品等）の遅延・困難	43
仕入価格の上昇	21
工場・店舗・事務所等の休業・停止	48
予約のキャンセル・発注の取り消し	60
従業員の勤務形態・体制の変更	80
資金繰りの悪化	78
海外取引の遅れ	12
その他	9
特になし	19



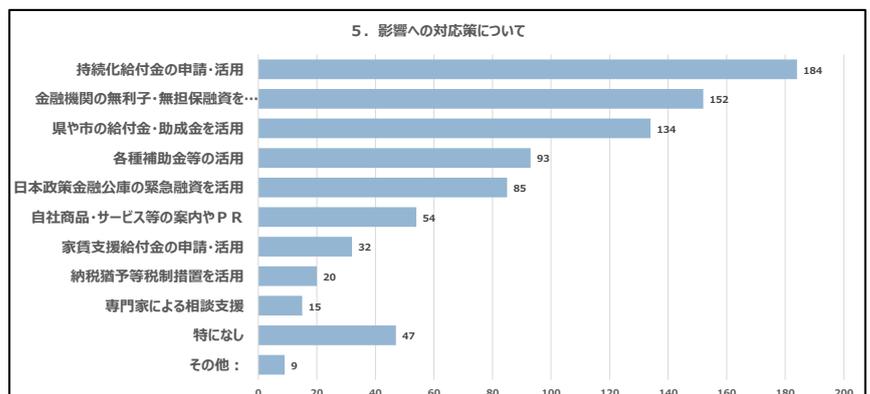
### 4. 新型コロナウイルス感染症への対策について ※複数回答可

設問	件数
マスク着用・消毒の徹底	330
検温等 社員の体調管理の徹底	181
会議やイベント・宴席等の自粛	172
テレワーク・オンライン会議等の導入	81
事業所・店舗の一時閉鎖・休業等の実施	56
出勤停止	32
事業所・事務所の分散、時差出勤の導入	30
B C Pの策定並びに対応マニュアルの作成	22
特になし	2
その他：	18
ストップコロナ！対策認定の取得	
出張の自粛・停止	
社内飛沫防止対策	
換気の徹底	
等	



### 5. 新型コロナウイルス感染症の経営に対する影響への対応策について ※複数回答可

設問	件数
日本政策金融公庫の緊急融資を活用	85
金融機関の無利子・無担保融資を活用	152
持続化給付金の申請・活用	184
家賃支援給付金の申請・活用	32
県や市の給付金・助成金を活用	134
納税猶予等税制措置を活用	20
各種補助金等の活用	93
自社商品・サービス等の案内やP R	54
専門家による相談支援	15
特になし	47
その他：	9
新たな経営体制の構築	
給料を減らす	
社債発行	
等	



6. 新型コロナウイルス感染症による経営への影響に関するご意見・ご要望があればご記入ください

税金面の申請も簡単で分かりやすくしてほしい
常態復帰を願うばかりです。
今後10月～12月は想定内の悪化を予測しておりますが、2021年1月以降悪化の場合、事業規模縮小及び業態の変更等又は廃業も検討致しますので商工会の退会をせざるを得ません。
治療法、薬の確立を何より望みます。促進活動をお願いします。感染しても大事にならないとなれば活動出来、消費活発となることでしょう。
売上減少で営業が厳しく持続化給付金を活用しましたが焼石に水でした。
8月の売り上げは商品券の利用で20%以上の売り上げがあったが、何かの補助（企画）がないと当分の間厳しい状況が続くと考えます。
各種イベントの中止、商品PR・販売活動がストップする。国・県・市行政と企業が知恵を出して支援してほしい。新しい販売方法の研究・開拓
コロナの収束は、何年かかるかわかりませんので、ワクチンの開発よりも、治療薬を作れば、風邪と同じようになるので、それしかないでしょう。
商売はしっかりしたクオリティの高いものを扱えば大丈夫です。
仕事が減少しすぎてお金のやりくりが非常に大変です。
まずは売上の減少より第一にお客様家族にコロナウイルスに感染しないために注意しています。予約のお客様以外フリーの方はお断りしています。
葬儀の縮小、法事の延期（実際は戻ってこないのでは中止となる）お清めがないのでお店は大変と思う。
一日も早く、日本そして世界の人々がコロナに打ち勝ち元の日常を取り戻す日が来る事をねがっております。
仕事場が建設現場であり、不特定多数業者との接触は避けられない。又、営業訪問についての推進と抑制とのコントロールに悩みあり。
令和2年4月に起業のため、前年度と比較した売上変化は回答できない。
一刻も早く消費税の減税、免税を検討してほしい。
修理代でも支払いについての相談が出てきている。支払いの遅れも発生している。今後増えていく可能性があると考えている。
コロナはインフルエンザと同じで流行は当分収まることは考えられないので、重症化しない薬が開発されるまでは今の状況が続くと思われませんが、製造業については徐々に回復していくのではないかと考えております。
今までの宴会会費売上が75%を占めていた。コロナによって無くなり、デリバリー（出前館ウーバーイーツ）、テイクアウト・E Cサイト（オイシックス・47クラブ・サトフル）に注力している。
桐生産マスクの積極的PRをお願いします。
中小企業のこの先どこまで耐えられるかが不安。雇用調整助成金終了後の雇用についての不安。
売上は前年と同じように見える中、長期に渡り仕入れ価格が高騰していて利益につながりません。来客の減少で食品ロスが多いのに1～2品の更なるサービスを常備し、再来につなげています。店内の設備に関しても「新しい生活…」を受けられれば良いのですが…これからは先も不安が残ります。
現在、織りのお客様が少しずつ戻ってきているが、今後も外出禁止などになれば続けていけないような気がしています。早く普通の生活に戻ることを祈るしかありませんが、いろいろ補助金を教えたいだけ助かっています。今後もよろしく願いいたします。
イベントが中止なので早く実施できるといい。
新しい販売チャネルの開拓のバックアップを要望します。
県の融資があり群馬県内で約16500社の貸入申し込みがあったと聞いておりますから多くの企業が助かったと思います。
車生産のラインに対して社員がコロナ感染でもしたら、車生産のラインに対してどうなるのか。心配である。
伴天は夏祭りが中止になり発注（受注）が全くなり、又外国人が日本に観光に来てお土産にのれん等購入してくれるのが観光客も入国出来ず受注がなくなっています。
現状が長期に（一年以上）なれば新たな方法（設備・雇用）を模索せねばと考えます。先ずは前向きに、万人が生き抜く為に、良い知恵がありましたら色々ご指導くださいませ。
必要以上恐れず注意しているが、なんか仕事が暇になってきている。みんなが安心になるようなことが必要な？
いつになったらワクチン等が市中に出回り 経済活動が安定するのかわからないため 今期を含めて売上予測が辛い。
補助金ではなく、給付金だとありがたい。
問5 ①②③⑤⑥⑦の申請活用を教えてください。
ウィズコロナの時代を向えるにあたり自粛した習慣がもとに戻らないことが経済に与える影響が心配でし。それを喚起する施策こそ重要。
新型コロナウイルス感染症の終息が第一。
現在の影響はないが全体の景気が落ちることで、設備投資や建築物の減少が懸念される。
どの業種苦しんでいると思います。引き続き事業所の為になるような情報展開、支援等をよろしくお願いします。
雇用調整助成金の3月までの延長を希望します。
一日も早いワクチンの開発に期待
SDGsへの高まりが急に高まりました。
現在日本のみならず世界的な影響があり今後（来年以降）等の心配が多くなると思うので先ず現在を頑張らなければならない。
売上の減少を中心に給付金等の申請を行わせているが、現実にはやはり資金繰りが重要で売上の減少が少なくても売掛金等の回収が滞っているケースがあるのではないかと考えます。
建設業は工事受注から竣工まで多くの期間を要する。現在施工中の大型物件は新型コロナウイルス感染症拡大前に受注したものです。来年3月までは多忙である。今後影響が出てくると思います。各企業が設備投資を控える気配です。
先の見えない戦いですができる工夫で対応しながら国や県、市のスピーディーな対策に期待します。
長期化する場合の方針や対応の見直しが必要。
納付猶予（税金・社会保険等）解除後の納付について長期分割方式を是非検討願いたい。
アルコール除菌剤等の消耗品の調達コストが増大し収支に影響する。また、外来診療の減少も顕著となっている。
売り上げ減少によりこの先どのくらいまでこの状況が続くのか？不安です。
質問 現在借りている工場の貸主が倒産した場合の対応が心配です。
仕事依頼があつても、契約が伸びてしまうことが多く、短期間の融資が受ける事ができればと常々思います。
今後、晩秋から冬にかけて拡大の恐れがあると思いますので政府系の補助などの新しい制度が決まりましたら教えていただくと助かります。
持続化給付金のさらなる期間延長。
プレミアム商品券の効果ははかり大きかったので、GoToEatなども早くから参加してほしい。
来店するお客様が複数人で来られた方でもお一人で来店するようになった。他県ナンバーを入れるのかと聞かれた。
来店の人々が少なくなり、訪問販売ができないので困っている。東京からの問屋も出張もない。仕入も行けない（東京方面）
とにかく仲間は北マで困りました。うちのお客様は社長さんが多いので、全然出てきてません。
来年度以降も国、県、市等による給付金、助成金が必要ですよ。

令和2年度 桐生商工会議所  
「経営発達支援事業」評価報告書

令和3年5月

作成：桐生商工会議所経営発達支援事業外部評価委員

編集・発行：桐生商工会議所

〒376-0023 群馬県桐生市錦町3-1-25

電話 0277-45-1201

FAX 0277-45-1206